

平成21年度

教育委員会の活動状況報告書

山梨県教育委員会

目 次

まえがき	1
第1 教育委員会の活動状況	2
1 平成21年度教育委員会会議の開催状況	2
2 一日教育委員会等の開催状況	7
3 その他の活動状況	11
第2 教育行政の点検・評価	13
1 評価の概要	13
2 事務事業評価	14
3 特定テーマ評価	14
別表1 事務事業評価結果一覧	18
別表2 特定テーマ評価結果一覧	21
第3 「やまなしの教育振興プラン」について	22
1 「やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業	23
2 「やまなしの教育振興プラン」の進捗状況	29

まえがき

平成19年6月に行われた「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正(平成20年4月1日施行)により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめ公表することとされました。

このことを受け、昨年度に引き続き県教育委員会では、教育委員会の活動状況や教育行政の点検・評価、やまなしの教育振興プランの状況について点検・評価を行い、報告書として取りまとめました。

さて、既に御承知のとおり、本県では平成21年2月、「やまなしの教育振興プラン」を策定し、『ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり』の基本理念の下、「個性を生かし、生きる力をはぐくむ『やまなし』人づくり」、「豊かで潤いがあり、明るく活力に満ちた『やまなし』社会づくり」の2つを基本目標に掲げ、これを実現するための6つの施策について重点的に取り組んでいます。

今後は、この点検・評価の実施を通じて施策や事業の効果を検証し、やまなしの教育振興プランを積極的に推進するとともに、より一層の教育行政の効果的かつ効率的な執行に努めて参りますので、県民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成22年2月

山梨県教育委員会

第1 教育委員会の活動状況

1 平成21年度教育委員会会議の開催状況

平成21年4月1日～平成22年1月末まで

会議開催回数	
定例会	16回
臨時会	6回
付議事項数	
議案	42件
報告事項	14件
その他報告	22件

第1回定例会（4月8日）

- ・その他報告（1件）
「平成21年度 山梨ことぶき勸学院・大学院 入学式について」

第2回定例会（4月22日）

- ・議案（2件）
「平成21年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について」
「平成21年度山梨県教科用図書選定審議会へ諮問する事項について」

第3回定例会（5月12日）

- ・議案（3件）
「平成22年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について」
「文化財の指定について」
「文化財の指定について」
- ・報告事項（1件）
「平成22年度採用山梨県公立学校教員選考検査について」
- ・その他報告（1件）
「第1回ワイワイ(YY)プロジェクト推進委員会の開催について」

第1回臨時会（5月20日）

- ・議案（1件）
「山梨県学校職員給与条例の一部を改正する条例」

第4回定例会（5月27日）

- ・議案（2件）
「山梨県図書館協議会委員の変更について」

「教育委員会所属長等の人事について」

・ 報告事項 (2件)

「平成21年度公立高等学校入学者選抜学力検査成績調査結果報告書について」

「歴史資料の購入について」

・ その他報告 (2件)

「平成20年度少人数教育「はぐくみプラン(中学校)」の調査結果について」

「平成22年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧について」

第5回定例会 (6月9日)

・ 議 案 (1件)

「山梨県立学校設置条例の一部を改正する条例」

・ 報告事項 (1件)

「平成21年度山梨県教科用図書選定審議会からの答申について」

第6回定例会 (6月16日)

・ 議 案 (1件)

「平成21年度6月補正予算概要」

・ 報告事項 (1件)

「登録有形文化財(建造物)の登録について」

・ その他報告 (1件)

「平成21年度韓国忠清北道への山梨県スポーツ交流団の派遣について」

第2回臨時会 (6月19日)

・ 議 案 (1件)

「職員の処分について」

第7回定例会 (7月9日)

・ 議 案 (3件)

「山梨県スポーツ振興審議会委員の任命並びに委嘱について」

「山梨県立美術館協議会委員の変更について」

「山梨県考古博物館協議会委員の変更について」

・ その他報告 (5件)

「平成22年度採用山梨県公立学校教員選考検査志願状況について」

「平成22年度山梨県公立高等学校入学者選抜における笛吹高等学校前期募集選抜方法等について」

「平成21年度山梨県公立高等学校入学者選抜に関する意識調査結果について」

「県立高等学校整備構想(仮称)検討委員会の報告について」

「県公4館(美術館・文学館・博物館・考古博物館)の夏休みフリーパスポートについて」

第3回臨時会（7月24日）

- ・議案（1件）
「教育委員会所属長等の人事について」

第4回臨時会（7月29日）

- ・議案（1件）
「職員の処分について」

第8回定例会（8月5日）

- ・議案（2件）
「山梨県立高等学校学則の一部を改正する規則」
「山梨県立学校処務規程の一部を改正する訓令」
- ・報告事項（1件）
「文学資料の購入について」
- ・その他報告（1件）
「平成22年度採用山梨県公立学校教員選考検査実施状況について」

第5回臨時会（8月12日）

- ・議案（1件）
「職員の処分について」

第9回定例会（8月20日）

- ・議案（2件）
「山梨県教育委員会安全衛生管理規程の一部を改正する訓令」
「県立高等学校整備基本構想に係る県民意見提出制度（パブリックコメント）の実施について」

第10回定例会（9月16日）

- ・議案（5件）
「山梨県文学館協議会委員の任命及び委嘱について」
「平成21年度9月補正予算概要」
「富士川町の設置に伴う関係条例の整備に関する条例」
「富士川町の設置に伴う関係規則の整備に関する規則」
「和解及び損害賠償額の決定の件」
- ・報告事項（3件）
「平成22年度使用山梨県立高等学校教科書採択結果について」
「平成22年度使用山梨県立特別支援学校教科書採択結果について」
「平成22年度採用山梨県立学校実習助手、寄宿舍指導員選考検査について」
- ・その他報告（1件）
「第64回国民体育大会（トキめき新潟国体）の山梨県選手団の編成について」

第6回臨時会（9月25日）

- ・ 報告事項 （ 1件）
「平成22年度採用山梨県公立学校教員選考検査について」

第11回定例会（10月13日）

- ・ 議 案 （ 2件）
「山梨県教育功労者表彰について」
「「県立高等学校整備基本構想」の策定について」
- ・ 報告事項 （ 1件）
「平成21年度四川省教育交流推進事業について」
- ・ その他報告 （ 2件）
「平成21年度中学校卒業予定者の第1次進路希望調査結果の概要について」
「第64回国民体育大会の結果について」

第12回定例会（11月4日）

- ・ 議 案 （ 2件）
「平成22年度山梨県公立高等学校等入学者募集定員について」
「文化財の指定について」
- ・ その他報告 （ 1件）
「県立博物館の研究機関指定について」

第13回定例会（11月18日）

- ・ 議 案 （ 5件）
「平成21年度11月補正予算概要」
「山梨県学校職員給与条例等の一部を改正する条例」
「山梨県学校職員給与条例及び山梨県学校職員給与条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」
「山梨県学校職員の勤務時間等に関する条例及び山梨県学校職員給与条例の一部を改正する条例」
「動産購入の件」
- ・ その他報告 （ 1件）
「平成21年度教育者表彰(文部科学大臣)について」

第14回定例会（12月16日）

- ・ 議 案 （2件）
「文化財の指定について」
「文化財の指定について」
- ・ 報告事項 （ 3件）
「平成22年度採用実習助手及び寄宿舍指導員選考検査結果について」
「甲府市立甲府商業高等学校の学科の廃止について」

「博物館の登録について」

・その他報告 (2件)

「山梨県立笛吹高等学校建設起工式について」

「山梨県立笛吹高等学校の校章について」

第15回定例会(12月25日)

・議案 (5件)

「山梨県立学校管理規則等の一部を改正する規則」

「山梨県立学校処務規程の一部を改正する訓令」

「専門学校山梨県立農業大学校管理規則の一部を改正する規則」

「山梨県教科用図書採択地区の設定の一部を改正する告示について」

「平成22年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本的事項の変更について」

第16回定例会(1月5日)

・その他報告 (4件)

「平成21年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について」

「平成22年度山梨県公立高等学校全日制課程における再募集の検査方法について」

「平成22年県下市町村の「成人式」について」

「第65回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の山梨県選手団の編成について」

2 一日教育委員会等の開催状況

(1) 一日教育委員会(教育懇談会)

①平成21年度第1回一日教育委員会(教育懇談会)

平成21年8月4日(火)に、蕪崎市の東京エレクトロン蕪崎文化ホールにおいて「平成21年度第1回一日教育委員会(教育懇談会)」を開催しました。

中北教育事務所管内のPTA関係者など県民約150名が参加しました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ、各課室長、中北教育事務所長が出席しました。

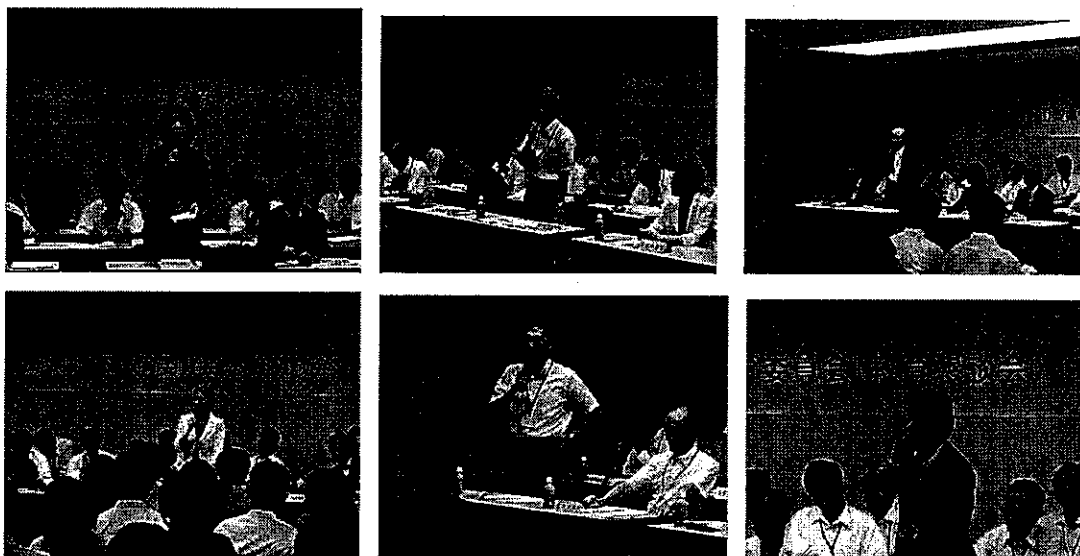
古屋教育委員長の挨拶のあと、松土教育長から「平成21年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、「教育事務所の担当地域の広さについて」、「高等学校の入学者募集定員について」、「ミュージアム甲斐in券について」、「少人数学級について」、「新型コロナウイルスへの対応について」、「やまなし学校応援団育成事業について」など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からの御意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【H21年8月4日】

<一日教育委員会(教育懇談会)の様子>



②平成21年度第2回一日教育委員会(教育懇談会)

平成21年9月9日(水)に、甲州市民文化会館において「平成21年度第2回一日教育委員会(教育懇談会)」を開催しました。

峡東教育事務所管内のPTA関係者など県民約100名が参加しました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ、各課室長、峡東教育事務所長が出席しました。

古屋教育委員長の挨拶のあと、松土教育長から「平成21年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、「小中一貫校、中高一貫校の設置について」、「中学校の少人数学級の推進について」、「小中学校の通学区域の見直しについて」、「不登校の生徒の進路について」、「学力低下への対応について」など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からの御意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【H21年9月9日】

<一日教育委員会(教育懇談会)の様子>



(2) 児童生徒と語る一日教育委員会

①平成21年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会

平成21年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会を増穂町立増穂中学校で開催しました。当日は教育委員が、3年生の各教室において講話や意見交換を行いました。

その概要は以下のとおりです。

ア 実施日

平成21年7月15日(水) 午前11時50分～

イ 参加者

増穂中学校第3学年生徒、教職員及び県教育委員

ウ 概要

教育委員が3年生の5クラスにそれぞれ1人ずつ別れ、各教室で以下の題名で、講話を行い、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
古屋委員長	「目標を持って」
須田委員長職務代理者	「男(向き)の仕事と女(向き)の仕事って何でしょう？」
渡邊委員	「ことばはこころ」
久保嶋委員	「未来は創る」
小林委員	「がんばれ商店街」

生徒からは、

「夢をかなえるためには、努力が大切だと思った。」

「将来、どんな職業に就くのか考える良い機会になった。」

「自分も家の仕事(商店)を継いでいくかはまだわからないけれど、商売の大変さがよくわかった。」

「生きていく中では、良いときや悪いときがあるということがわかった。」

等様々な意見が聞かれました。

<児童生徒と語る一日教育委員会の様子>



②平成21年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会

平成21年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会を大月市立大月東小学校で開催しました。当日は教育委員が、4～6年生の各教室において講話や意見交換を行いました。

その概要は以下のとおりです。

ア 実施日

平成21年11月11日(水) 午前11時40分～

イ 参加者

大月東小学校第4～6学年児童、教職員及び県教育委員

ウ 概要

教育委員が4～6年生の5クラスにそれぞれ1人ずつ別れ、各教室で以下の題名で、講話を行い、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
古屋委員長	「私が見た世界の子どもたち」
須田委員長職務代理者	「男の仕事と女の仕事」
渡邊委員	「一人はみんなのために」
久保嶋委員	「自分の良いところをさがそう」
小林委員	「みんなで考える環境のこと」

生徒からは、

「いろんな国の状況がよくわかった。」

「思いやり、差別をしないことが、みんなのためになり、いじめがなくなると思う。」

「言葉で人を傷つけないことで、みんなが仲良くなれると思う。」

「仕事や将来のことを考える良い機会となった。」

「もっとエコについて調べて、いろいろ取り組んでみたいと思った。」

「僕が知らない環境のことがたくさんあった。僕も環境のことに少しでも協力したい。」

等様々な意見が聞かれました。

<児童生徒と語る一日教育委員会の様子>



3 その他の活動状況

平成21年

- 4月17日 ことぶき勸学院・大学院入学式 <出席者：古屋委員長>
- 4月17日 美術館特別展 <出席者：古屋委員長>
・「ベルギー王立美術館コレクション ベルギー近代絵画の歩み」
- 4月25日 博物館企画展 <出席者：古屋委員長>
・「金GOLD黄金の国ジパングと甲斐金山」
- 5月 1日 文学館企画展 <出席者：古屋委員長>
・「太宰治展」
- 5月12日 美術館ミレー館5万人達成記念式典 <出席者：古屋委員長>
- 5月14日 1都9県教育委員会全委員協議会
～15日 ・出席者：古屋委員長、須田委員長職務代理者、渡辺委員、久保嶋委員、小林委員
・開催地：長野県
・議題等：「不登校児童生徒の支援について」ほか
- 6月 6日 県PTA協議会定期総会 <出席者：古屋委員長>
- 6月26日 やまびこ支援学校創立30周年記念式典 <出席者：須田委員長職務代理者>
- 7月 3日 関東地区高等学校PTA連合会大会山梨県大会開会式 <出席者：渡邊委員>
- 7月 9日 韓国忠清北道派遣山梨県スポーツ交流団結団式 <出席者：須田委員長職務代理者>
- 7月 9日 甲府城址現地視察 <出席者：教育長を除く全委員>
- 7月10日 博物館企画展 <出席者：古屋委員長>
・「おもちゃと模型のワンダーランド展」
- 7月13日 全国都道府県教育委員会連合会平成21年度第1回総会等
～14日 ・出席者：古屋委員長
・開催地：静岡県
・議題等：「こどもと向き合う時間の確保について」ほか
- 7月15日 教育関連施設視察
・増穂町民族資料館「太鼓堂」・増穂中学校 <出席者：全委員>
- 7月19日 美術館特別展 <出席者：古屋委員長>
・「ハンス・フィッシャーの世界
－「こねこのぴっち」の作家がわが子に贈った絵本たち」
- 7月20日 韓国忠清北道派遣山梨県スポーツ交流団 <出席者：須田委員長職務代理者>
～25日
- 8月 4日 教育関連施設視察
・韮崎市立韮崎西中学校・県立韮崎射撃場 <出席者：全委員>
- 8月17日 平成22年度採用教員面接試問 <出席者：全委員>
～19日
- 9月 3日 1都9県教育委員会教育委員長協議会 <出席者：須田委員長職務代理者>
～ 4日 ・開催地：横浜市
・議題等：「今後の学校におけるキャリア教育のあり方について」ほか

- 9月 9日 教育関連施設視察
・重要文化財 旧高野家住宅「甘草屋敷」(甲州市) <出席者:全委員>
- 9月12日 美術館特別展 <出席者:古屋委員長>
・「ミュージアム甲斐・ネットワーク事業—やまなしの美術館大全展」
- 9月17日 国体選手団結団壮行式 <出席者:古屋委員長>
- 9月18日 文学館企画展 <出席者:古屋委員長>
・「開館20周年記念展—樋口一葉と甲州」
- 9月24日 第32次山梨県四川省友好訪中団結団式 <出席者:古屋委員長>
- 9月25日 第64回国民体育大会 <出席者:古屋委員長>
~27日
- 10月 9日 考古博物館特別展 <出席者:須田委員長職務代理者>
・「卑弥呼時代の黄泉世界」
- 10月16日 美術館特別展 <出席者:古屋委員長>
・「イメージをめぐる冒険 ~20世紀巨匠たちの挿絵本~」
- 10月25日 第32次山梨県四川省友好訪中団 <出席者:古屋委員長>
~31日
- 10月30日 新任教育委員研究協議会 <出席者:小林委員>
- 11月11日 教育関連施設視察
・やまびこ支援学校(大月市)・大月東小学校 <出席者:教育長を除く全委員>
- 11月 4日 山梨県教育功労者表彰式 <出席者:全委員>
- 12月21日 須田委員 委員長就任
- 12月16日 県立中央高校現地視察 <出席者:教育長を除く全委員>
- 12月22日 美術館特別展オープニングセレモニー <出席者:久保嶋委員>
・「美しきアジアの玉手箱—シアトル美術館所蔵日本・東洋美術名品展—」
- 平成22年
- 1月 6日 平成22年度採用校長面接試問 <出席者:全委員>
~ 8日
- 1月 9日 笛吹高等学校建設起工式 <出席者:須田委員長、古屋委員、小林委員>
- 1月13日 平成22年度採用教頭面接試問 <出席者:全委員>
~15日
- 1月15日 冬季国体スケート競技・アイスホッケー競技結団壮行式 <出席者:須田委員長>
- 1月22日 平成22年度昇任主幹教諭候補者面接試問 <出席者:須田委員長>
- 1月25日 全国都道府県教育委員会連合会平成21年度第2回総会等 <出席者:須田委員長>
開催地:東京都
議題等:「児童生徒の学力向上について」ほか

第2 教育行政の点検・評価

1 評価の概要

(1)趣旨

県教育委員会では、①成果を重視した県民本位の行政の推進、②限られた財源や人材の効果的効率的な活用、③県民に対する説明責任の徹底を目的とし、所管する施策・事業の効果や目的達成度を点検・評価する。

(2)対象

事務事業評価の対象は、平成21年度当初予算に計上された事業のうち、人件費・扶助費などの義務的経費、庁舎等の維持管理経費等に係る事業を除く61事業とする。また、特定テーマ評価については「多大な時間を要している事業」として3事業とする。

(3)評価方法

評価は「事務事業自主点検シート」により、事業担当課室が自主的に事務事業の点検を行うことを基本とし、そのうち特定テーマ評価に係る事業を外部評価する。

評価の時点については、原則として平成20年度末現在とするが、評価に当たっては平成21年度上半期の実績等も勘案する。

(4)評価基準

①活動量

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、予定された活動量を上げているかを評価するため、活動指標達成率に基づく数値判定を行う。

- a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。
- b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。
- c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。
- d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

②成果

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、意図した成果を上げているかを評価するため、成果指標達成率に基づく数値判定を行う。ただし、成果を定量的に指標化することが困難な場合には、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断する。

- a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。
- b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。

c:意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。

d:意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

2 事務事業評価

評価の概要

評価を行った61事業のうち、「予定を超えた活動量がある。」とした事業は2事業、「予定どおりの活動量がある。」とした事業は55事業、「予定したほど活動量がない。」とした事業が3事業、また、「予定した活動量に著しく足りない。」とした事業が1事業あった。

また、「意図した成果はほぼ上げている。」とした事業が60事業、「意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない。」とした事業が1事業、「意図した成果を十分に上げている。」とした事業及び「意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める。」とした事業は該当がなかった。

このうち、事務事業評価の中で「他事業と統合」、「実施方法等の変更」など、見直しの必要性が「有」の事業は、20事業となった。(18項 別表1「事務事業評価結果一覧」のとおり。)

3 特定テーマ評価

(1) 課題研究事業費 <総務課>

① 事業内容

『確かな学力の向上』や『個性を生かす教育』などの教育課題について、研究を重ね、その成果を県下の学校に還元し、教育指導の改善に結び付ける事業として実施している。

事業は、県総合教育センターが行い、小・中・高・特別支援学校の教員及び教育関係機関の職員を対象として、研究発表大会を開催するとともに、小・中・高・特別支援学校、大学及び市町村教育委員会などに対して、冊子及びCDを配布した。

② 活動量

活動指標は、研究論文数、研究発表会参加者数及び研究紀要の発行部数としており、平成20年度は、研究論文数は21件(目標:21件)、研究発表会参加者数は357人(目標:340人)、研究紀要の発行部数は、冊子30部・CD500部(目標:冊子30部・CD500部)であったため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

③成果

成果指標は、研究発表会の参加者に対して行ったアンケートの回答のうち「今日的な課題や問題に対応する内容であった。」及び「今後の教育活動に役立つ。」とする意見の割合としており、平成20年度の割合は、それぞれ98.5%及び97.1%(目標:各100%)であったため、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

④学識経験者による主な意見等

本事業のうち、事業の活動に対する評価として、「教育指導を改善することは、長期的な視点に立って取り組んできたものであり、その主たる成果は、単年度の実績の積み上げであり、当事業の成果には、そのベースとして継続実施による成果も含まれていると考えられ、それを評価している。」との意見があり、事業の見直しについては、「総合教育センターの主たる業務の一つである研究事業あり、短期間での評価は困難である。」との意見がなされた。

⑤これまでの事業の見直し・改善状況

平成17年度から研究紀要の作成・配付については、保存用冊子(30部)を除き各学校等にCDによる配付を行い、予算節減を図っている。

⑥追加・修正意見等

なし

⑦見直しの方向

なし

(2)基礎学力到達度調査事業費 <総務課>

①事業内容

小・中・高校生を対象に調査を行い、基礎学力の到達度を分析し、各学校での学習指導の改善に結び付ける事業として、平成15年度から実施している。

事業の実施に当たっては、小学6年生、中学3年生及び高校2年生を10%程度抽出し、小学校は『社会・理科』、中学校は『社会・理科・英語』、高校生は『国語・数学・英語』をペーパーテスト調査(基礎学力定着状況調査)及び質問紙調査を行う。

結果については、冊子及びCDの調査報告書を作成し、教育センターでの研究発表大会での報告や、各種研究会で利用することとしている。

②活動量

活動指標は、調査を実施した児童生徒数で、平成20年度は小・中・高校あわせて、2,623人(目標:2,700人)で、実施率97.1%であり、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

③成果

成果を定量的に指標化することが困難であったため、「成果指標によらない成果」として、基礎学力の定着状況を把握し、分析結果を基にした授業等における指導の改善策を教育センターでの研究会で提案することにより、各学校における学習指導に寄与している。また、県教育委員会事務局においては、分析結果をこれからの教育施策の企画や評価に活用しており、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

④学識経験者による主な意見等

本事業については、「『基礎学力到達度調査』を研修主事の研究とすることは、研修主事の本来業務から、はずれているのではないか。」、また、「学力テストについては、問題も多く社会や理科の実施についても疑問がある。」との意見がなされた。

⑤これまでの事業の見直し・改善状況

平成19年度からは、小・中学校は「全国学力・学習状況調査」科目と、社会・理科・英語で実施し、平成20年度からは、高校の調査対象生徒の個人票を作成し配付している。

⑥追加・修正意見等

本事業は、ペーパーテスト調査の結果を分析し、学習指導の改善を図ることを目的としているが、学校によって履修科目や生徒の習熟度が異なる高校を対象に実施しても全県的な推計とならず、改善も限定的となる。したがって、高校のペーパーテスト調査は、廃止を検討する必要がある。

⑦見直しの方向

高校のペーパーテスト調査は、平成21年度をもって廃止する。

(3)教育課程研究費 <義務教育課>

①事業内容

学習指導に当たっている全小・中学校の教員を対象に、授業の改善等により、児童生徒を指導する資質や能力を高めることにより、児童生徒の「知・徳・体」の balan

スの取れた力である『生きる力』向上に結び付ける事業として、昭和58年度から実施している。

事業内容としては、県内教員により構成された「教育課程研究委員会」（26部会）を設置して「教育課程指導資料」を作成するとともに、夏休みを利用して、教員の指導力向上を目的とする「新教育課程説明会」を開催することとしている。

平成20年度は、「教育課程研究委員会」を年間6回開催し、「教育課程指導資料」を作成した。また、「新教育課程説明会」は、延べ3,915名（小学校2,613名、中学校1,302名）、延べ25会場において開催した。

②活動量

活動指標は、教育課程指導資料作成部数としており、平成20年度は、当初目標どおり、小学校編4,000部、中学校編2,500部、資料HP版を作成し、配付したため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

③成果

成果指標は、配付資料を活用した公立学校数となっており、全小・中学校（小学校201校、中学校93校）に配付し、すべての公立学校で活用されている。

また、「新教育課程説明会」の参加者に対して行ったアンケートでは、96.1%の教員が「概ね理解できた。」と回答しており、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

④学識経験者による主な意見等

本事業について、『児童生徒の確かな学力や生きる力の向上』という事業目的は、抽象的であり、教育などの成果が現れるまでに時間を要する事業については、目的と成果が結びつくよう中間目標設定が必要である。また、この種の事業は、様々な企画・実施が可能であり、何らかの効率化の視点も入れる必要がある。」との意見がなされた。

⑤これまでの事業の見直し・改善状況

作成した指導資料は、19年度まではCDにより各校へ配付していたが、20年度からは、ホームページに掲載することで、作成時間や経費節減を図っている。

⑥追加・修正意見等

なし

⑦見直しの方向

なし

（21頁 別表2「特定テーマ評価結果一覧」のとおり。）

別表1

事務事業評価結果一覧

区 分		活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
※()内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当 課室が各種要因等を総合的に勘案し、aからdを選択。		活動量	成果	有
a	活動量:予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果:意図した成果を十分に上げている(120%以上)	2	0	20 (32.7%)
b	活動量:予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果:意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	55	60	
c	活動量:予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果:意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成 果の向上が見込める(40%以上80%未満)	3	0	
d	活動量:予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果:意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない (40%未満)	1	1	
計		61	61	

No.	担当課	細事業名	H21当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
				活動量	成果	有
1	教育庁総務課	教育便覧発行費	709	b	b	有
2	教育庁総務課	教育研修費	3,102	b	b	
3	教育庁総務課	特別支援学校教職員研修等事業費	370	b	b	
4	教育庁総務課	障害のある子どものための教育相談事業費	2,307	b	b	
5	学校施設課	理科教育設備整備費	6,270	b	b	
6	義務教育課	英語教員海外派遣研修(2ヶ月)事業費	1,710	b	b	有
7	義務教育課	海外派遣研修(研修指導者養成)事業費	3,599	b	b	有
8	義務教育課	指導者研修費	920	b	b	
9	義務教育課	学校配置スクールカウンセラー事業費	131,800	b	b	有
10	義務教育課	要請訪問スクールカウンセラー事業費	5,561	b	b	
11	義務教育課	いきいき教育地域人材活用推進事業費	7,115	b	b	
12	義務教育課	幼児教育振興事業費	231	b	b	
13	義務教育課	ふるさと山梨郷土学習推進事業費	310	b	b	
14	義務教育課	社会生活にいきる読解力向上推進事業費	1,080	b	b	
15	高校教育課	修学奨励費貸付金	3,920	b	b	
16	高校教育課	特別支援学校児童生徒就学援助費	109,758	b	b	
17	高校教育課	新産業技術等職業高校教員研修費	1,820	b	b	
18	高校教育課	全日制高等学校生徒指導費	326	b	b	有
19	高校教育課	定時制高等学校生徒指導費	427	b	b	有
20	高校教育課	巡回教育相談費	142	b	b	

No.	担当課	細事業名	H21当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
				活動量	成果	有
21	高校教育課	障害児プレスクールシステム事業費	315	b	b	有
22	高校教育課	自作教材・教具開発推進事業費	650	a	b	有
23	高校教育課	医療的ケア支援事業費	109	b	b	
24	高校教育課	地域交流・共同学習事業費	2,086	b	b	
25	高校教育課	新教育課程実践研究事業費	341	b	b	
26	高校教育課	教育情報ネットワーク整備事業費	85,396	b	b	
27	高校教育課	四川省教育交流推進事業費	1,187	b	b	
28	高校教育課	県立学校教育情報化推進事業費	75,114	b	b	
29	高校教育課	高校生インターンシップ推進事業費	652	b	b	有
30	社会教育課	知事をかこむ小中学生のつどい	39	b	b	有
31	社会教育課	社会教育委員費	995	b	b	有
32	社会教育課	市町村図書館運営研修事業費	179	b	b	
33	社会教育課	放課後子どもプラン推進事業費	31,323	b	b	
34	社会教育課	地域教育連携事業費	612	a	b	
35	社会教育課	青少年長期自然体験活動事業費	2,578	b	b	
36	社会教育課	ことぶき勸学院運営費	10,589	b	b	
37	社会教育課	ことぶき勸学院大学院・甲府学園運営費	14,860	b	b	
38	社会教育課	ことぶき勸学院大学院・都留学園運営費	2,657	b	b	
39	社会教育課	人権教育指導研修事業費	176	c	b	有
40	スポーツ健康課	スポーツ振興審議会開催事業費	161	b	b	
41	スポーツ健康課	県体育協会補助金(事務局運営費)	94,381	b	b	
42	スポーツ健康課	県立高校体育施設開放事業費	20,854	b	b	
43	スポーツ健康課	全国スポーツ・レクリエーション祭選手派遣事業費	14,100	b	b	
44	スポーツ健康課	競技力調査費	750	b	b	
45	スポーツ健康課	国体選手派遣費事業費	9,104	b	b	
46	スポーツ健康課	国体選手派遣費等補助金	83,418	b	b	
47	スポーツ健康課	健康・体力づくり実践事業費	100	b	b	
48	スポーツ健康課	小学校教員体育実技講習会事業費	59	b	b	
49	スポーツ健康課	中・高等学校体育実技指導者講習会事業費	58	b	b	有
50	スポーツ健康課	各種大会への指導者派遣事業費	551	b	b	
51	スポーツ健康課	養護教諭研修会等事業費	252	b	b	有
52	スポーツ健康課	都道府県立学校管理者賠償責任保険料	1,851	b	b	
53	スポーツ健康課	学校栄養職員研修会等事業費	214	b	b	有
54	スポーツ健康課	韓国忠清北道スポーツ交流事業費	2,358	d	b	有
55	スポーツ健康課	広域スポーツセンター運営事業費	461	c	b	

No.	担当課	細事業名	H21当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
				活動量	成果	有
56	学術文化財課	文化財保存事業費補助金(県単)	80,888	b	b	有
57	学術文化財課	埋蔵文化財発掘調査費(国補)	7,231	b	b	
58	学術文化財課	文化財保護審議会開催及び現地調査費	1,607	b	b	有
59	学術文化財課	甲府城跡保存活用等検討事業費	5,700	b	b	有
60	学術文化財課	富士山世界文化遺産登録推進事業費	30,000	c	d	有
61	学術文化財課	博学連携事業費	542	b	b	

別表2

特定テーマ評価結果一覧

区 分		活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
※()内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等(例:イベント当日の天候)を総合的に勘案し、aからdを選択。		活動量	成果	一次評価 「有」	二次評価 「有」	有
a	活動量:予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果:意図した成果を十分に上げている(120%以上)	0	0	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
b	活動量:予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果:意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	3	3			
c	活動量:予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果:意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	0			
d	活動量:予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果:意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	0	0			
計		3	3			

No.	担当課	細事業名	始期	H21当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
					活動量	成果	一次評価	二次評価	有
1	教育庁総務課	課題研究事業費	S24	477	b	b	無	無	無
2	教育庁総務課	基礎学力到達度調査事業費	H15	2,127	b	b	有	有	有
3	義務教育課	教育課程研究費	S58	714	b	b	無	無	無

第3 「やまなしの教育振興プラン」について

本県では、これまで「やまなしの教育基本計画」に基づき、「郷土を愛し 未来を拓く やまなしの教育」を実現するため、教育の諸課題に取り組んできました。

ところで、教育を取り巻く環境は、少子・高齢化、核家族化の進展、科学技術の進歩、雇用形態の多様化など大きく変化してきており、国においては、教育基本法やいわゆる教育三法の改正、学習指導要領の改訂、更には、新たな教育振興基本計画の策定など、教育の枠組みが大きく変わりました。

一方、本県においても、平成19年12月に策定された「チャレンジ山梨行動計画」において、人づくりは県政の基本であるとの基本の下、『はぐくむ山梨』の実現に向けた教育に関する諸施策が示されました。

こうした状況を踏まえ、県教育委員会では、平成21年2月、本県教育振興の基本計画である『やまなしの教育振興プラン』を策定したところです。

このプランでは、平成21年から平成25年までの5年間を計画期間とし、「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」の基本理念の下、「個性を生かし、生きる力をはぐくむ『やまなし』ひとづくり」、「豊かで潤いがあり、明るく活力に満ちた『やまなし』人づくり」を基本目標とし、これを達成するための5つの施策の柱と、重点的に取り組む6つの施策、目標となる指標などを設定しています。

今後は、この「やまなしの教育振興プラン」に掲げた施策を着実に推進し、目標となる指標の達成状況を把握しながら施策や事業の充実と必要な見直しに努めていきたいと考えています。

なお、このプランの計画期間は、平成21年度を初年度とし、平成25年度を目標年度とする5年間としていることから、本年度に把握した平成20年度の現況値は計画期間には含まれていませんが、本県教育の現状を知るうえで必要なものと考え、参考として掲載しました。

1 「やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業

『ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり』の基本理念の下、次の2つを基本目標として「やまなし」の教育の振興を図ります。

個性を生かし、生きる力をはぐくむ「やまなし」人づくり

豊かで潤いがあり、明るく活力に満ちた「やまなし」社会づくり

さらに、基本目標を達成するため、家庭、地域、学校や行政等、社会全体で取り組む『横』の連携と、幼児教育から小・中・高等学校、大学等、さらには社会生活への発達段階に応じた『縦』の接続とに留意しつつ、諸施策の中で、特に次の施策について重点的に取り組みます。

- 1 夢をはぐくみ、自立して生きていく力を培う「体系的なキャリア教育の推進」
- 2 みんなで、子どもを見守りはぐくむ「地域全体で取り組む教育の推進」
- 3 考え抜く力とやる気をはぐくむ「確かな学力の育成」
- 4 自他への思いやりや情操をはぐくむ「豊かな心の育成」
- 5 健康でたくましく生きる基盤を培う「健やかな体の育成」
- 6 豊かで生きがいのある生活を支える「文化の振興」

施策の柱	施 策	事 業 名
学校教育の充実	体系的なキャリア教育の推進	体系的学習プログラムの開発と実践 <義務教育課> 児童生徒キャリア育成推進事業費
	幼小中高連携による一貫した進路指導の推進	<高校教育課> ものづくり人材育成のための専門高校地域連携事業費
	職業教育・ものづくり教育の推進	食・くらしを支える専門的職業人育成事業費 新産業技術等職業高校教員研修事業費
	キャリア教育に関する指導力の向上	高校生インターンシップ推進事業費
	キャリア教育の理解と実践	
	企業や関係機関との連携	
確かな学力の育成	各学校段階に応じた学習指導の充実	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費
	基礎的・基本的な知識や技能の定着	社会生活に生きる読解力向上推進事業費 国立教育政策研究所指定校事業費
	思考力・判断力・表現力等の育成	教育課程研究費
	国語力等の向上	<高校教育課> 高等学校授業研究推進事業費
	個性を生かす教育の充実	国語力向上実践事業費 自ら学ぶ学校図書館活用事業費
	学ぶ意欲を引き出す学習評価の確立	特色ある高校づくり推進事業費
	学習習慣の確立	<総合教育センター> 教育研修費(再掲) 教育研究費
	総合的な学習の時間の充実	
	校種間連携の推進	

施策の柱	施策	事業名		
学校教育の充実	豊かな心の育成	<p>道徳教育の推進</p> <p>豊かな体験活動の推進</p> <p>伝統文化・文化芸術に関する教育や文化部活動の充実</p> <p>読書活動の推進と拡充</p> <p>いじめ問題への取組の充実</p> <p>不登校問題への取組の充実</p> <p>問題行動への取組の充実</p>	<p><義務教育課></p> <p>いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲)</p> <p>国立教育政策研究所指定校事業費(再掲)</p> <p>社会生活に生きる読解力向上推進事業費(再掲)</p> <p>ふるさと山梨郷土学習推進事業費</p> <p>豊かな体験活動推進事業費</p> <p>生徒指導費</p> <p>いじめ・不登校対策事業費</p> <p>ふるさとやまなし心の教育推進事業費</p> <p><高校教育課></p> <p>道徳教育実践研究事業費</p> <p>特色ある高校づくり推進事業費(再掲)</p> <p>高等学校文化活動助成費</p> <p>自ら学ぶ学校図書館活用事業費(再掲)</p> <p>巡回教育相談</p> <p>生徒指導費</p> <p><社会教育課></p> <p>フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」開催事業費</p> <p>子どもの読書活動推進事業費</p> <p><学術文化財課></p> <p>博物館事業費(教育普及)(再掲)</p> <p>考古博物館事業費(教育普及)(再掲)</p> <p>文学館事業費(教育普及)(再掲)</p> <p>美術館事業費(教育普及)(再掲)</p> <p>県立文化施設共通事業費</p> <p><総合教育センター></p> <p>教育研修費(再掲)</p> <p>教育相談事業費</p> <p>適応指導教室運営費(義務教育課)</p>	
	健やかな体の育成	<p>学校体育・スポーツの充実</p> <p>健康・安全教育の推進</p> <p>食育の推進</p>	<p><スポーツ健康課></p> <p>「体づくり運動」実技指導者講習会事業費</p> <p>健康・体力づくり実践事業</p> <p>小学校教員体育実技講習会事業費</p> <p>中・高等学校体育実技指導者講習会事業費</p> <p>学校体育研究会事業費</p> <p>運動部活動外部指導者派遣事業費</p> <p>各種大会への指導者派遣事業費</p> <p>スポーツ大好きキッズ育成事業</p> <p>学校体育団体等関係事業補助金</p> <p>健康教育指導者研修会事業費</p> <p>学校保健推進費</p> <p>学校給食推進費</p> <p>夜間定時制給食費</p>	
	特別支援教育の充実	特別支援学校の充実	<p><新しい学校づくり推進室></p> <p>特別支援教育推進費</p>	<p>交流・共同学習指導費</p> <p>特別支援学校児童生徒就学奨励費</p>
		幼稚園及びすべての学校における支援体制の整備と保育所との連携		
		就学指導の充実	<p><総合教育センター></p>	<p>特別支援学校教職員研修等事業費</p> <p>障害のある子どものための教育相談事業費</p>
		自立と社会参加の促進		

施策の柱	施策	事業名
学校教育の充実	時代の要請に応える教育の推進	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲) 児童生徒キャリア育成推進事業費(再掲) エネルギー教育推進事業費 やってみよう外国語活動推進事業費 帰国子女等教育指導費 いじめ・不登校対策事業費(再掲) ふるさとやまなし心の教育推進事業費(再掲) 小学校理科支援員等配置事業費 <高校教育課> エネルギー教育推進事業費 県立学校教育情報化推進事業費 教育情報ネットワーク整備事業費 特色ある高校づくり推進事業費(再掲) 語学指導等を行う外国青年招致事業費 <総合教育センター> 教育研修費(再掲)
	青少年を有害環境から守るための取組の推進	
	環境教育の充実	
	人権教育・男女平等教育の充実	
	福祉教育の充実	
	理数教育の充実	
	情報教育の充実	
	国際理解の推進とコミュニケーション能力の育成 外国人児童生徒等教育の推進 高大連携の推進	
学校教育の環境整備	学校教育の環境整備	<学校施設課> 産振設備費 理科教育設備整備費 高等学校教材設備近代化事業費 専門高校情報教育機器更新事業費 高等学校設備整備事業費(耐震改修) 高等学校設備整備事業費(総合学科等) 総合情報システム整備事業費 峡東地域総合制高校建設事業費 耐震補強・大規模改修費 県立学校耐震対策等改修費 高校施設整備事業費 甲府支援学校等施設整備費 <義務教育課> 海外派遣研修費 初任者研修費 指導者研修費 教育課程研究費(再掲) 学校評価実践研究事業費 教育職員免許検定費 学校教育指導費 教員の資質能力向上推進事業費 教職員人事給与管理費 <高校教育課> 初任者研修費 新産業技術等職業高校教員研修事業費(再掲) 交通被災遺児就学奨励費補助金 育英奨学金貸付金補助金 定時制課程等修学奨励費 <新しい学校づくり推進室> 新しい高校づくり推進事業費 <総合教育センター> 教育研修費 教育研究費(再掲) 特別支援学校教職員研修等事業費(再掲) <私学文書課> 私立学校運営費補助金 私立高等学校授業料減免補助金 私立幼稚園障害児就園事業補助金
	学校施設の充実	
	優れた人材の確保と教職員の適正配置	
	教員免許更新制の円滑な実施	
	教職員の資質向上	
	指導が不適切な教員の人事管理システムの推進	
	学校運営システムの充実	
	就学の奨励	
	学校現場の創意工夫による取組への支援	
	教育に関する研究成果等の蓄積・活用	
	魅力ある高校づくりの推進	
	私学の振興	

施策の柱	施策	事業名	
学校教育の充実	高等教育の振興	県と大学との連携の推進	<企画課> 山梨大学・山梨県連携推進協議会 連携事業検討会議 地域技術事業化推進会議 大学間連携推進事業費 <私学文書課> 県立大学公立大学法人化費 県立大学地域研究交流センター費
		産学官連携事業の推進	
		大学間連携の推進	
		県立大学への公立大学法人制度の導入	
家庭・地域・学校の連携	幼児教育・家庭教育への支援	幼児教育への支援	<義務教育課> 幼児教育振興事業費 ふるさとやまなし心の教育推進事業費(再掲) <社会教育課> 父親を考えるフォーラム開催事業費 幼児教育放送「子育て日記」放映事業費 子育て支援コーディネーター養成事業費 子育て相談総合窓口設置事業費 <総合教育センター> 障害のある子どものための教育相談事業費(再掲)
		子育てに関する学習機会の充実	
		子育てに関する相談体制の充実	
		人材の育成・確保・活用	
	地域全体で取り組む教育の推進	地域住民による学校支援体制の整備	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲) 学校評価実践研究事業費(再掲) ふるさとやまなし心の教育推進事業費(再掲) <社会教育課> やまなし学校応援団育成事業費 やまなし若者地域活性化プロジェクト推進事業費 ハヶ岳少年自然の家運営費 なかとみ青少年自然の里運営費 ゆずりはら青少年自然の里運営費 子どもクラブ活性化事業費補助金 子どもの読書活動推進事業費 放課後子どもプラン推進事業費 県立施設開放文化講座開催事業費 <スポーツ健康課> 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費
		体験活動推進体制の整備	
		地域活動への子どもの参加促進	
		地域のボランティア等との連携による学校内外の安全確保	
		子どもの読書活動支援	
		放課後や週末の子どもたちの体験・交流活動等の場づくり	
開かれた学校づくりの推進			
生涯学習の推進	生涯学習推進体制の充実	推進組織の機能強化	<生涯学習文化課> 生涯学習推進事業費 生涯学習情報提供事業費 生涯学習推進センター運営費(広報・連携・支援事業、普及啓発事業、指導者等養成事業) キャンパスネットやまなし運営費(再掲) <社会教育課> 社会教育指導者養成事業費
		学習情報の提供の充実	
		普及啓発の充実	
		生涯学習活動の指導者養成	

施策の柱	施策	事業名
生涯学習の推進	多様な生涯学習機会の提供	<生涯学習文化課> 県民コミュニティーカレッジ事業
	現代的な課題に対応した学習機会の提供	生涯学習推進センター運営費(学習機会の提供事業、山梨のアイデンティティー形成事業、サテライトスクール事業)
	身近な学習機会の充実	キャンパスネットやまなし運営費
	郷土を学ぶ機会の充実	生涯学習情報提供事業費(再掲)
	ICTを活用した学習機会の充実	<社会教育課> やまなし女性国際セミナー開催事業費 山梨ことぶき勸学院運営費(再掲) 人権教育促進事業費 <学術文化財課> 博物館事業費(教育普及)(再掲) 考古博物館事業費(教育普及)(再掲) 文学館事業費(教育普及)(再掲) 美術館事業費(教育普及)(再掲) 埋蔵文化財保存活用整備事業費 県立文化施設共通事業費(再掲)
学習成果の活用支援	学習意欲を促す学習成果の評価	<生涯学習文化課> キャンパスネットやまなし運営費(再掲)
	学習成果を生かした社会参加活動の促進	生涯学習情報提供事業費(再掲)
	地域人材の活用支援	生涯学習推進センター運営費(学習成果活用事業) <社会教育課> 子育て支援コーディネーター養成事業費(再掲) やまなし学校応援団育成事業費(再掲) 放課後子どもプラン推進事業費(再掲) 山梨ことぶき勸学院運営費(再掲)
生涯学習環境の充実	生涯学習施設・体制の充実	<社会教育課> 図書館情報ネットワークシステム運営費
	生涯学習コンテンツの充実	社会教育関係団体活性化事業費補助金 山梨ことぶき勸学院運営費 科学館運営費 <新図書館建設室> 新県立図書館整備事業費
スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの設立・育成	<スポーツ健康課> 広域スポーツセンター運営事業費
	広域スポーツセンターの充実	地域スポーツ推進人材育成・派遣事業費
	参加機会の充実	山梨県スポーツレクリエーション祭実行委員会助成費
	指導者等の養成・確保・活用	いきいき山梨ねんりんピック実行委員会事業費補助金
	スポーツ施設の利用拡大・充実	韓国忠清北道スポーツ交流事業費
	スポーツ情報提供システムの充実	体育協会助成費 市町村・社会体育関係団体指導事業費 生涯スポーツ情報発信事業費 県立高校施設開放事業費 小瀬スポーツ公園整備・改修費

施策の柱	施策	事業名	
スポーツの振興	競技スポーツの振興	優秀選手の育成・強化	<スポーツ健康課> 競技力向上費 小中学校体育連盟補助金 高等学校体育連盟補助金 県体育協会補助金(スポーツ医・科学補助事業) 国民体育大会選手派遣費 韓国忠清北道スポーツ交流事業費(再掲) ジュニアアスリートチーム山梨強化事業 やまなしスポーツ顕彰事業費
	スポーツ医・科学の活用		
	スポーツ交流の推進		
	一貫指導体制の推進		
	競技力向上を図る指導者の養成		
	優秀選手等の表彰		
	セカンドキャリア支援の検討		
文化の振興	文化芸術に親しむ 機会の充実	優れた舞台芸術鑑賞機会の充実	<生涯学習文化課> 県民文化ホール運営管理費 山梨芸術劇場開催費 巡回児童劇場開催費 地域文化施設連携事業費補助金 <学術文化財課> 美術館事業費 文学館事業費 考古博物館事業費 博物館事業費 ミュージアム甲斐ネットワーク事業費 県立文化施設共通事業費(再掲)
		地域における鑑賞機会の提供	
		美術館等における魅力ある企画展の開催	
		文化施設等の連携強化	
	文化活動への支援	文化芸術の教育普及活動の充実	<生涯学習文化課> 国民文化祭費 県民文化祭費 県民文化祭開催強化対策費 芸術文化活動推進事業費 山梨県芸術文化協会強化対策事業費 <学術文化財課> 美術館事業費(教育普及)(再掲) 文学館事業費(教育普及)(再掲) 考古博物館事業費(再掲) 博物館事業費(再掲) 「やまなし文学賞」事業費補助金
		やまなし文学賞の授与	
		文化ボランティアの育成	
		発表機会の充実	
		文化芸術団体への支援	
		国民文化祭の開催	
文化財の保存と継承	有形文化財の保存・修理・活用	<学術文化財課> 文化財保護調査費 文化財保存事業費補助金 埋蔵文化財調査費 県指定史跡甲府城跡保存活用等検討事業費 歴史資料等収集費 国指定文化財保存管理計画策定等事業費 無形民俗文化財保存事業費	
	史跡・名勝・天然記念物の保存と活用		
	埋蔵文化財の調査		
	甲斐風土記の丘の整備		
	富士山の文化的価値の啓発		
	民俗文化財の保存と継承		
	伝統技術等の保存と継承		

2 「やまなしの教育振興プラン」の進捗状況

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H20年度の 現況値	進捗率 %
◆ 学校教育の充実						
体系的なキャリア教育の推進	夢や目標を持っている状況	・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 86.7 %	小 90 %	小 87.5 %	24.2
			中 73.0 %	中 80 %	中 73.7 %	10.0
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	高 70.4 %	高 80 %	高 72.4 %	20.8
	インターンシップの実施状況	・就業体験を実施している高校の割合	高 65.6 %	高 80 %	高 67.7 %	14.6
	企業実習への参加	・企業等で実習体験をしている生徒の数	高 150 人	高 300 人	高 542 人	261.3
	技術研修への参加状況	・企業等の研修に参加した教員の数	高 162 人	高 180	高 166 人	22.2
確かな学力の育成	国語についての理解の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「国語の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 81.8 %	小 90 %	小 82.9 %	13.4
			中 72.1 %	中 80 %	中 73.7 %	20.3
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「国語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 57.7 %	高 70 %	高 61.7 %	32.5
	算数(数学)についての理解状況	・「全国学力・学習状況調査」における「算数(数学)の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 79.2 %	小 90 %	小 81.4 %	20.4
		中 62.1 %	中 70 %	中 63 %	11.4	
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「数学の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 51.3 %	高 70 %	高 58.9 %	40.6

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H20年度の 現況値	進捗率 %
確かな学力の育成	英語についての理解状況	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「英語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 45.5 %	高 60 %	高 56.3 %	74.5
	評価基準の整備状況	・学習指導要領に示された目標に沿った指導と評価を実践するために、各教科毎に学力を観点別に与えた評価規準を整備している学校の割合	小 91.2 %	100 %	小 100 %	100
			中 89.6 %		中 100 %	100
			高 92.5 %		高 94.8 %	30.7
	家庭学習の取り組み状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか」の設問に「全くしていない」と答えた児童生徒の割合	小 3.6 %	小 2 %	小 3.6 %	0
			中 9.3 %	中 5 %	中 9.3 %	0
	「総合的な学習時間」への興味の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「総合的な学習の時間の勉強は好きですか」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合	小 82.4 %	小 90 %	小 79.8 %	-34.2
			中 68.5 %	中 80 %	中 68.5 %	0
	校種間連携の状況	・教員や生徒により小中学生への授業等を実施している高校の割合	高 62.1 %	高 80 %	高 65.5 %	19.0

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H20年度の 現況値	進捗率 %
確かな心の育成	規範意識の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまりを守っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 88.8 %	90 %	小 88.8 %	0
			中 87.1 %		中 89.3 %	75.9
		高 85.2 %	高 89.6 %		91.7	
	道徳教育の推進状況	・道徳の授業を地域住民や保護者に公開している学校の割合	小 34.8 中 27.1	70 %	小 51.7 中 41.9	48.0 34.5
	思いやりの心の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「人が困っているときは、進んで助けている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 82.4 % 中 77.6 %	90 %	小 84.3 % 中 78.8 %	25.0 9.7
	豊かな体験活動	・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などで遊んだ経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した児童の割合(小学校)	小 84.8 %	90 %	小 85.5 %	13.5
			中 86.4 %		中 81 %	-150.0
高校芸術文化祭への参加状況	・文化部の活動を充実させるために行われている高校芸術文化祭への参加者数	18,416 人	20,000 人	18,964 人	34.6	
いじめの状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「いじめの認知件数」	小 251 件	小 200 件	小 226 件	49.0	
		中 319 件	中 230 件	中 329 件	-11.2	
		高 169 件	高 100 件	高 137 件	46.4	

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H20年度の 現況値	進捗率 %	
確かな心の育成	不登校の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「不登校児童生徒」の人数	小 188 人	小 160 人	小 145 人	153.6	
			中 995 人	中 700 人	中 855 人	47.5	
			高 299 人	高 280 人	高 272 人	142.1	
	暴力行為の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「暴力行為」の件数	小 6 件	小 3 件	小 24 件	-600.0	
			中 135 件	中 90 件	中 211 件	-168.9	
			高 72 件	高 50 件	高 68 件	18.2	
	読書への取組状況	・「全国学力・学習状況調査」における「家や図書館で、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」の設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合	小 15.4 %	小 10 %	小 14.6 %	14.8	
			中 32.5 %	中 20 %	中 32.9 %	-3.2	
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外で1日だいたい、どのくらい読書を読みますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 50.5 %	高 30 %	高 52.4 %	-9.3	
	確かな体の育成	運動・スポーツの実施状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生(5・6年生)の割合	小 48.2 %	小 65 %	小 47.5 %	-4.2
		体力・運動能力の状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学生(5年生)のボール投げの平均値のピーク時(昭和56年)の値に対する割合	小 81.7 %	小 90 %	小 81.9 %	2.4
薬物乱用防止への取組状況		・薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	中 29.2 %	中 60 %	中 34.4 %	16.9	
			高 87.5 %	高 100 %	高 87.5 %	0	
朝食の摂取状況		・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で児童生徒が朝食を摂取している割合	小 91 %	小 95 %	小 91.1 %	2.5	
			中 84 %	中 90 %	中 84.1 %	1.7	
			高 78.3 %	高 90 %	高 79.4 %	9.4	
食育の推進状況		・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合	小 64.2 %		小 82.4 %	50.8	
			中 53.8 %	100 %	中 68.5 %	31.8	
	高 10.2 %			高 22.2 %	13.4		

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H20年度の 現況値	進捗率 %
特別支援教育の充実	「個別指導計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の障害の状態や発達段階等に応じた学習指導を行うための「個別の指導計画」を作成している小中学校の割合	小 57.2 % 中 39.8 %	70 %	小 76.2 % 中 72.9 %	148.4 109.6
	「個別教育支援計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の教育的ニーズに応じ、関係機関が連携して適切な指導及び必要な指導を行うための「個別の教育支援計画」を作成している小中学校の割合	小 46.2 % 中 35.7 %	70 %	小 74.3 % 中 70.8 %	118.1 102.3
	自立と社会参加の状況	・県立特別支援学校高等部の新卒生徒の就職割合	14.6 %	20 %	13.5 %	-20.4
時代の要請に応える教育の推進	環境教育への取組状況	・省エネ・省資源活動等に取り組んでいる学校の割合	小 87.8 %	100 %	小 99.5 %	95.9
			中 84.4 %		中 90.2 %	37.2
			高 75.9 %		高 86.2 %	42.7
	福祉教育への取組状況	・福祉の心を培い、福祉の実践力を高めるための福祉教育に取り組む高校の割合 ※ 小・中は100%達成済	高 92 %	高 100 %	高 97.0 %	62.5
	情報教育への対応状況	・コンピュータや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合	小 56.8 %	小 70 %	小 57.7 %	6.8
中 56.3 %			中 70 %	中 57.9 %	11.7	
高 64.3 %			高 80 %	高 61.9 %	-15.3	
高大連携への取組状況	・大学教員による授業を取り入れている高校の割合	高 69 %	高 80 %	高 72.4 %	30.9	
学校教育の環境整備	学校評価及び公表への取組状況	・教育活動に係る自己評価に対する学校関係者評価を実施・公表している学校の割合	小 39.9 %	100 %	小 50.2 %	17.1
			中 43.8 %		中 51.6 %	13.9
			高 71.7 %		高 75.6 %	13.8

施策	指 標	指 標 の 概 要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H20年度 の現況値	進捗率 %
◆ 家庭・地域・学校の連携						
への幼児教育・家庭支援教育	保・幼・小の連携状況	・保育所や幼稚園との交流活動を年に3回以上行った小学校の割合	小 39 %	小 60 %	小 47 %	38.1
	ふれ合い体験の実施状況	・乳幼児とのふれ合い体験を実施している高校の割合	高 79.3 %	高 100 %	高 84.8 %	26.6
の地域推進全体で取り組む教育	学校応援団の取組状況	・様々な知識や技能を持つ地域住民が学校や家庭、地域に貢献できるための仕組みづくりに取り組んだ市町村の割合	0	100 %	21.4	21.4
	開かれた学校づくりのための取組状況	・学校のホームページで情報提供を行っている学校の割合 ※ 高校は100%達成済	小 62.2 % 中 60.2 %	80 %	小 76.2 % 中 68.4 %	78.7 41.4
◆ 生涯学習の推進						
体制の充実推進	自主的な学習活動への取組状況	・「やまなしまナビネットワークシステム」で提供している学習機会や人材等の学習情報へのアクセス件数	836,370 件	1,000,000 件	958,696 件	74.8
習多様な生涯学習の提供	多様な学習活動への取組状況	・県、市町村、大学、民間団体等が連携し、多様な学習機会を提供する「キャンパスネットやまなし」に入学した人の数(累計)	3,098 人	5,000 人	3,457 人	18.9
学習成果の活用支援	学習活動に意欲的に取り組んでいる状況	・「キャンパスネットやまなし」において所定の単位を取得し、奨励賞を交付された学習者の数(累計)	1,154 人	2,300 人	1,474 人	27.9
	学校応援団の取組状況【再掲】	・様々な知識や技能を持つ地域住民が学校や家庭、地域に貢献できるための仕組みづくりに取り組んだ市町村の割合	0	100 %	21.4	21.4

施策	指 標	指 標 の 概 要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H20年度 の現況値	進捗率 %
◆ スポーツの振興						
生涯 スポ ーツ の 振 興	総合型他地域 スポーツクラブ の設置状況	・いつでも、どこでも、いつまでも スポーツに親しむことができるよう、 総合型地域スポーツクラブを 設置している県内市町村の割合	53.6 %	100 %	68 %	31.0
	スポーツへの 取組状況	・週1回以上スポーツを実施して いる成人の割合	32.4 %	50 %	- %	-
競技ス ポ ー ツ の 振 興	競技レベルの 状況	・国民体育大会における個人、 団体の上位8位以内の入賞数	83 人・ 団体	100 人・ 団体	92 人・ 団体	52.9
	アンチ・ドー ピングへの取組 状況	・選手、指導者がアンチ・ドー ピングへの意識啓発のための講習 会に参加している県内競技団体の 割合	70 %	100 %	55 %	-50.0
	一貫指導体制 の推進状況	・トップレベルの競技者の養成・ 確保のための一貫指導体制を 確立している競技団体の割合	55 %	100 %	55 %	0
◆ 文化の振興						
む文化 機社会 の芸術 の親充 に親し し	舞台芸術公演 への県民の参 加状況	・県民文化ホールで開催した主 催事業への入場者数	17,951 人	20,000 人	15,723 人	-108.7
文化 活 動 へ の 支 援	博学連携の実 施状況	・県立博物館と連携して教育活 動を行っている学校の割合	小 40 % 中 34 % 高 31 %	50 %	小 43.2 % 中 42.4 % 高 34 %	32.0 52.5 15.8
	県民文化祭へ の参加状況	・県民の文化芸術活動の発表及 びその鑑賞の場である県民文化 祭への参加者数	218,973 人	222,000 人	228,732 人	322.4
保文 存化 と財 継の 承	文化財の保 存・活用状況	・県内の国・県指定文化財の件 数	660 件	690 件	660 件	0

